

**在宅歯科医療に貢献できる歯科衛生士の育成をめざす
特定非営利活動法人 静岡県歯科衛生士会主催
在宅歯科医療推進研修が開講中（全8回）
第6回は聖隸福祉事業団講師による吸引研修
2/6(木)開催 プラサ ヴェルデ 402会議室（沼津市）**

静岡県歯科衛生士会は、平成27年度から静岡県の委託を受け、在宅歯科医療に貢献できる歯科衛生士を育成するために「**在宅歯科医療推進研修**」を開催しています。全8回の研修で、令和元年度は11/17(日)より開講しています。

要介護者の多くが、歯科治療が必要であるのに歯科受診していない現状があり、寝たきり等で通院が困難な方のご自宅などに歯科医師や歯科衛生士が訪問し、必要な治療やケアを行う在宅歯科医療を推進することは重要です。

社会福祉法人 聖隸福祉事業団（法人本部：静岡県浜松市／理事長：山本敏博／以下、聖隸）は、毎年この研修に講師を派遣し、**吸引に関する研修**を行っています。歯科衛生士は専門的な視点から、お口を清潔に保ち、その機能低下を防ぐ口腔のケアを行いますが、その際にお口の中や喉の汚染物、痰などを吸引することは重要な手技となります。聖隸は介護職員向けに実施している吸引研修を歯科衛生士向けに再構成し、現場経験と指導経験が豊富な講師がマンツーマンで指導に当たります。吸引シミュレーターを使用した実技研修など、受講者から毎回好評を得ています。

今年度は開催地区を東部に広げ、2020年2月6日(木)10:00～ プラサヴェルデ内402会議室にて開催します。



<研修概要>

令和元年度 在宅歯科医療推進研修

「在宅歯科診療の知識・技術を備えた歯科衛生士の育成」

～地域における食支援・歯科口腔領域から一翼を担うために～

- ・開催期間 2019年11月17日(日)～2020年2月24日(月) 全8回
- ・研修内容 例：誤嚥性肺炎予防、認知症対応、食形態など

《近年の受講者数》(人)

開催年	全8回	聖隸の吸引研修
H27	324	77
H28	311	56
H29	308	41
H30	414	30
計	1357	204

聖隸福祉事業団の吸引研修

- ・開催日時 2020年2月6日(木) 10:00～16:00
- ・会場 プラサヴェルデ内402会議室（静岡県沼津市大手町1-1-4）
- ・受講定員 30名 ※対象は静岡県内の歯科衛生士・歯科医師

**報道関係の皆様方におかれましては、以上ご配慮賜りたくお願い致します。
ご取材を希望される方は、下記問い合わせ先担当者までご一報いただければ幸いです。**

<本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先>

【聖隸福祉事業団】 広報事務局（フロンティアインターナショナル内） 担当：林、藤野、千葉
TEL：03-5778-4844 / FAX：03-5778-4747 / mail：frontier-pr@frontier-i.co.jp

在宅歯科医療について

訪問診療を行っている歯科診療所の数は全国の歯科診療所全体の約15%（※）、静岡県では約12%

平成30年1月時点、静岡県内で要介護度3以上の人数が58,831人であるのに対し、県内の歯科診療所数は1,766件。このうち、歯科訪問診療を行った歯科診療所は220件（12%）。仮に58,831人が歯科通院困難である場合、在宅療養者の多くが訪問診療を希望したとしても、**十分に対応できない現状**がある。

※厚労省の平成29年度 医療施設静態調査より

歯科の問題は気がつきにくい！

歯や口の状態は全身の健康に大きな影響を与えるため、健常な人や年齢を問わず、自覚症状がなくても年に数回の「定期健診」が望ましい。静岡県歯科医師会・静岡県歯科衛生士会では、様々な活動において、かかりつけ歯科を持ち、定期受診することが大切であることを周知している。要介護高齢者においては長期間受診していない場合も多く、むし歯や歯周病の重症化、入れ歯の不具合、噛むことや飲み込むことの機能低下（口腔機能低下、摂食嚥下機能低下）などが深刻となり、誤嚥性肺炎のリスクが上昇し、死に直結する問題が起こり得る。過去の調査では、要介護高齢者の約9割が歯科治療や専門的な口腔のケアが必要であるが、実際に受診したのは約27%というデータも。

在宅歯科医療の推進は重要！！

静岡県は、静岡県歯科医師会に委託し「静岡県在宅歯科医療推進室」を平成27年に開設するなど、在宅歯科医療を推進してきました。

静岡県歯科衛生士会の「在宅歯科医療推進研修」も、県が進める在宅歯科医療推進に付随するものです。

- ・ 訪問業務に携わる歯科衛生士の育成を急ぐ
- ・ 歯科診療所内で行う業務に加え、訪問診療のために必要となる関連知識と技術、在宅療養者やご家族に接するための心構えなどを学ぶ機会を提供する



<聖隸福祉事業団の吸引研修>



歯科衛生士の業務の中でも、医療用の吸引器を使用した吸引は最新スキルの一つと言えます。歯科衛生士は、歯科医療専用の「口腔内バキューム」による吸引には慣れていますが、医療用吸引器による咽頭部（不可視部位）を含めた吸引については、養成校での教育も近年始まったばかりです。

聖隸は介護職員向けに実施している吸引研修を歯科衛生士向けに再構成し、**現場経験と指導経験が豊富な講師（看護師）**がマンツーマンで指導に当たります。平成27年に初めて開催した際には、特に大きな反響がありました。

<本資料に関する報道関係者様からのお問合せ先>

【聖隸福祉事業団】 広報事務局（フロンティアインターナショナル内） 担当：林、藤野、千葉
TEL：03-5778-4844 / FAX：03-5778-4747 / mail：frontier-pr@frontier-i.co.jp